



2018年9月期 第2四半期 決算説明会

2018年4月26日

株式会社セプテーニ・ホールディングス

<https://www.septeni-holdings.co.jp>

Securities Code : 4293

1. 2018/9期 2Q連結累計期間決算概要
2. 四半期連結決算概要
3. ネットマーケティング事業
4. メディアコンテンツ事業
5. 2018/9期 通期業績予想
6. 補足資料

- 2016年9月期より、従来の日本基準に替えてIFRSを適用しております。
- 従来の「売上高」は参考情報として任意開示とする一方、IFRSに基づく指標として「収益」を開示しております。ネットマーケティング事業の大半を占める広告代理販売における収益は、マージン部分のみの純額計上となります。
- 事業の実態をより適切に表現するため、「Non-GAAP営業利益」を任意で開示しております。Non-GAAP営業利益とは、IFRSに基づく営業利益から、減損損失、固定資産の売却損益等の一時的要因を調整した恒常的な事業の業績を測る利益指標です。
- 本資料の数値は、単位未満を四捨五入して表示しております。
- 従来より各セグメントへ配賦していました全社費用について、2018年9月期以降は配賦を行わない方針に変更しております。当変更に伴い、過年度のセグメント別Non-GAAP営業利益は全社費用を配賦しない基準にて遡及修正しております。

1. 2018/9期 2Q連結累計期間 決算概要

連結

収益 7,976百万円 (前年同期比 9.1%増)
Non-GAAP営業利益 1,018百万円 (前年同期比 24.2%減)

業績予想通りに着地、収益は過去最高を更新※

ネット マーケティング 事業

収益 7,500百万円 (前年同期比 7.8%増)
Non-GAAP営業利益 2,652百万円 (前年同期比 12.7%減)

動画・海外を中心に収益が拡大し、業績予想を達成

メディア コンテンツ 事業

収益 629百万円 (前年同期比 27.1%増)
Non-GAAP営業利益 -608百万円 (前年同期比 145百万円増)

ブランド広告市場の開拓を積極的に推進し、収益拡大に寄与

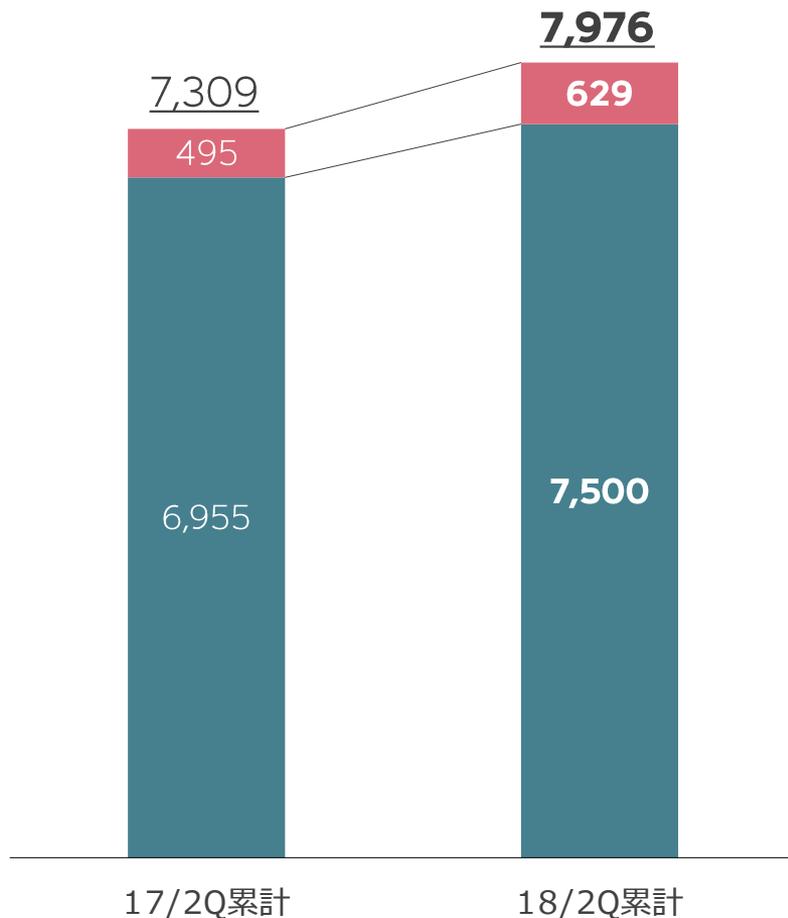
※ IFRS適用(2016年9月期)以前はIFRSの「収益」に相当する日本基準の「売上総利益」との比較

- 業績予想通りに着地、収益は前年同期比で **+9.1%**
- 中期的な競争力強化を見据えた先行投資を計画通りに実行

(単位:百万円)	2018年9月期 2Q累計			2017年9月期 2Q累計		2018年9月期 2Q累計 業績予想	達成率
	金額	比率	前年同期比	金額	比率		
収 益	7,976	100.0%	+9.1%	7,309	100.0%	8,000	99.7%
売上総利益	6,741	84.5%	+2.7%	6,561	89.8%	—	—
販売管理費	5,735	71.9%	+9.9%	5,219	71.4%	—	—
Non-GAAP 営業利益	1,018	12.8%	-24.2%	1,343	18.4%	1,000	101.8%
営業利益	1,009	12.7%	-20.6%	1,272	17.4%	—	—
継続事業からの 四半期利益	753	9.4%	-12.0%	856	11.7%	—	—
非継続事業からの 四半期利益	—	—	—	883	12.1%	—	—
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	754	9.5%	-56.8%	1,743	23.9%	600	125.6%
【参考】売上高	37,643	—	+1.0%	37,268	—	37,500	100.4%

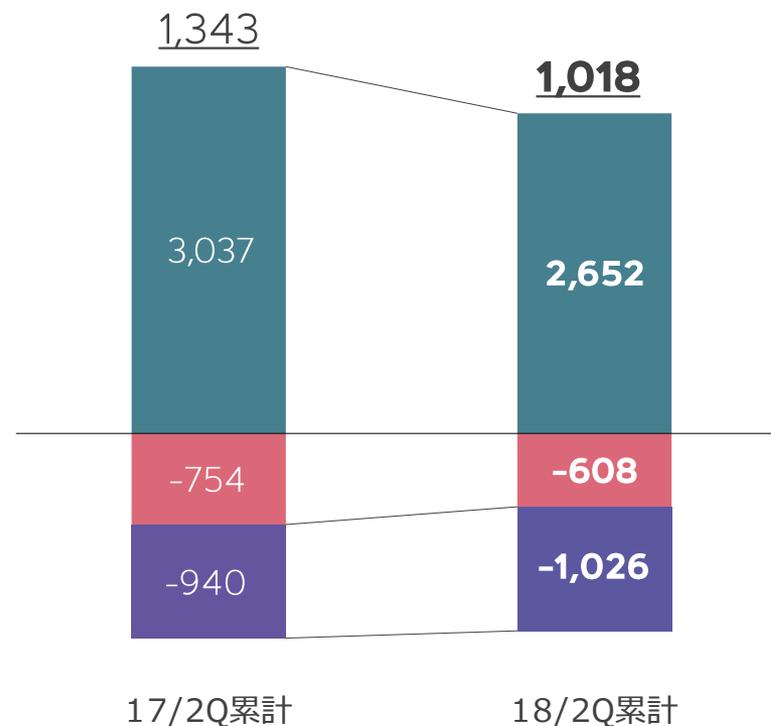
収 益

(百万円)



Non-GAAP営業利益

(百万円)

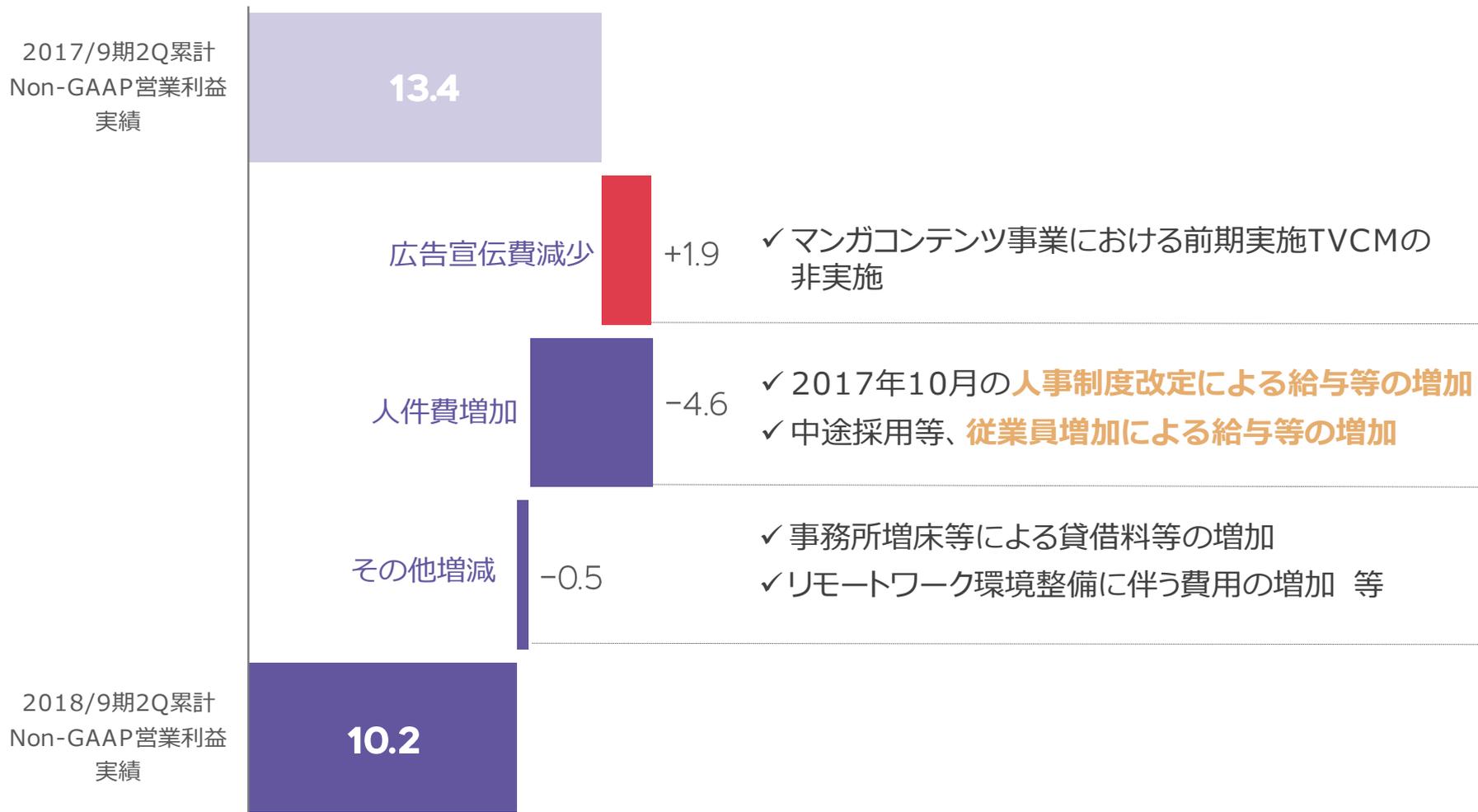


■ ネットマーケティング ■ メディアコンテンツ ■ 調整額(全社費用等)

※セグメント間収益の消去分の記載を省略しているため、各事業収益の合計と連結収益(下線付数値)は一致しない

2Q累計Non-GAAP営業利益の主な変化要因(前年同期比)

(単位:億円)

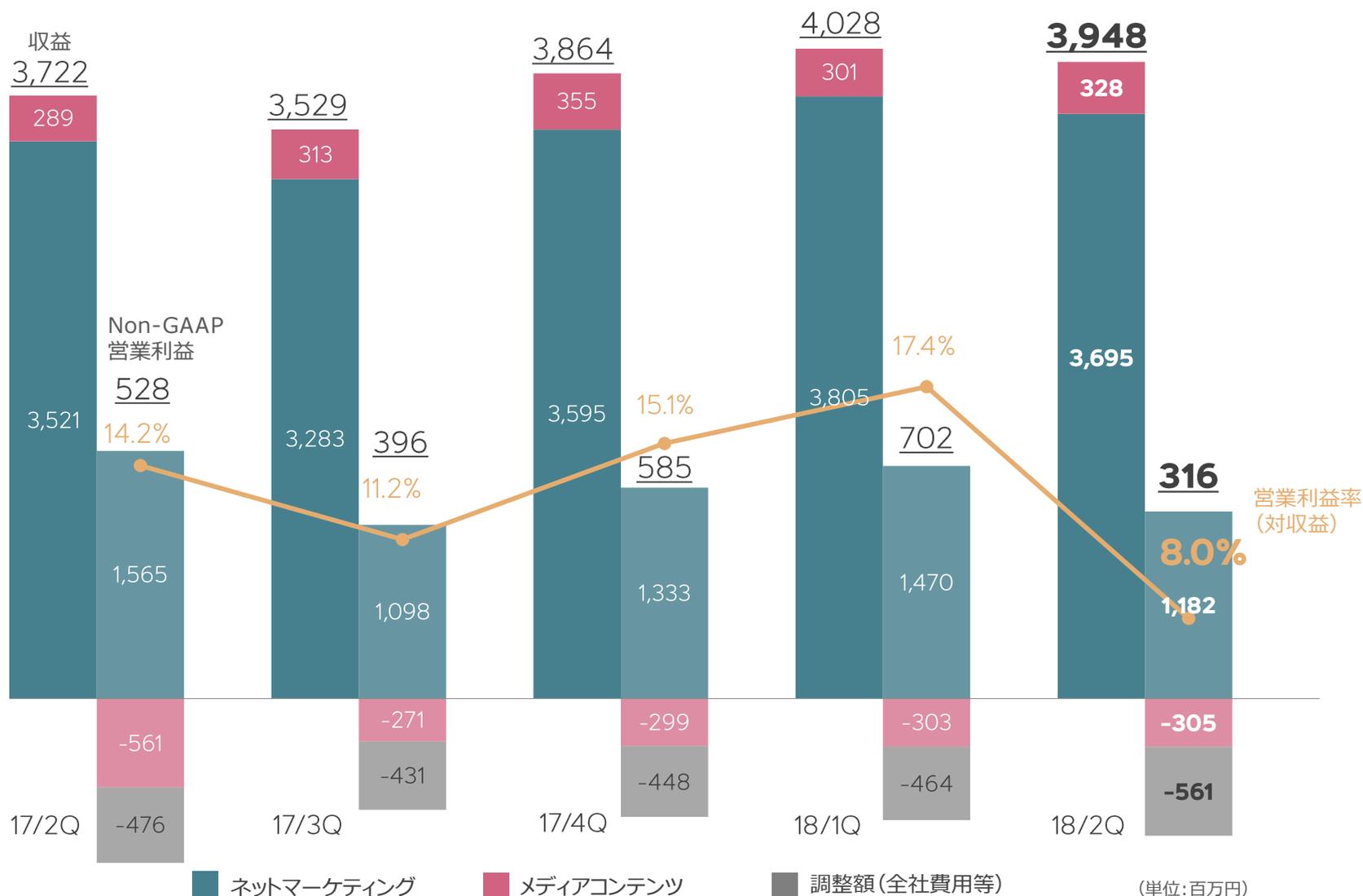


2. 四半期連結決算概要

- ネットマーケティング事業はやや力強さに欠けるも、メディアコンテンツ事業の堅調な推移により増収で着地、1-3月収益でも過去最高を更新
- 動画広告に対するクリエイティブ投資を進め、売上原価率が上昇

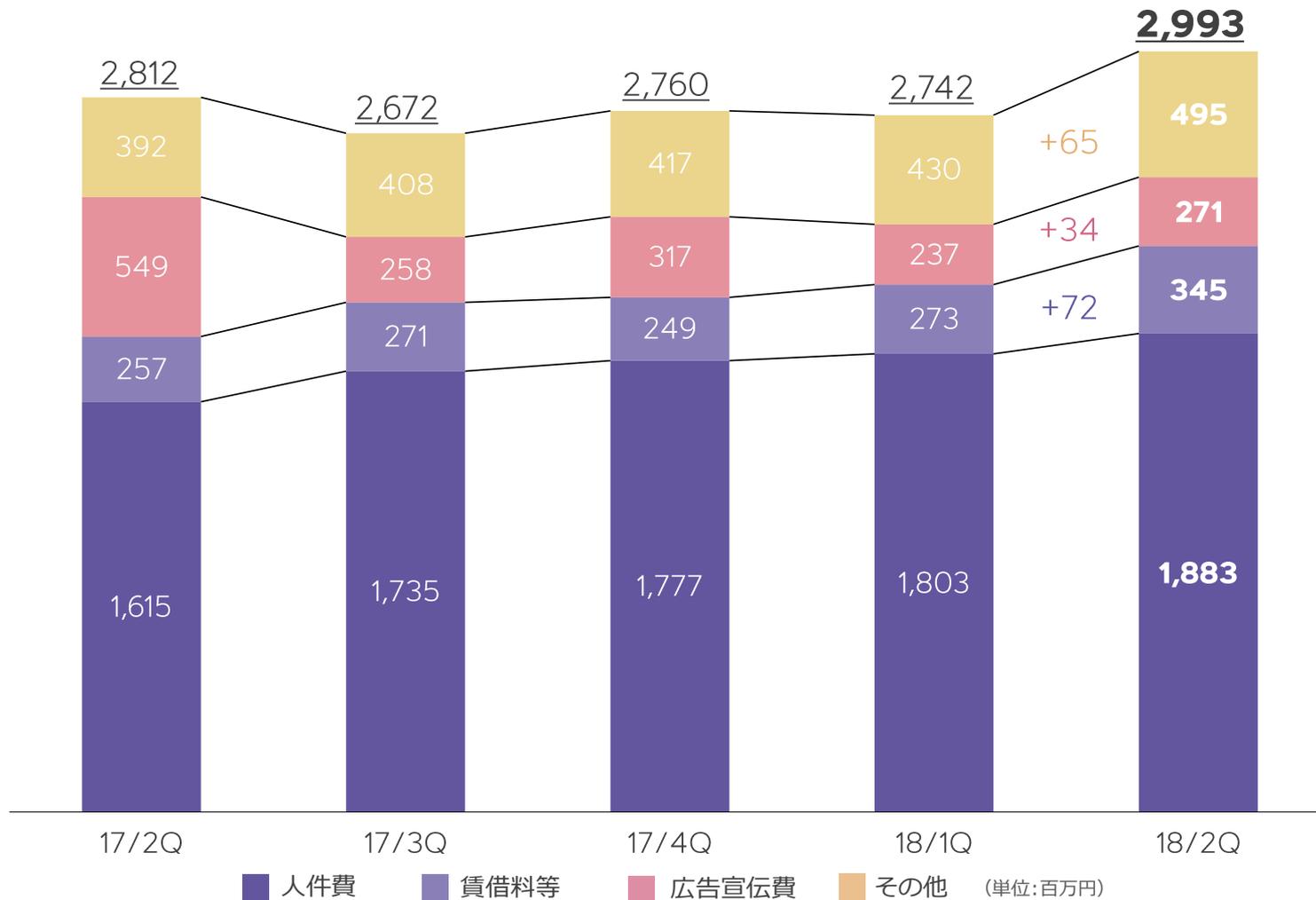
(単位：百万円)	2018年9月期 2Q			2017年9月期 2Q	
	金額	比率	前年同期比	金額	比率
収 益	3,948	100.0%	+6.1%	3,722	100.0%
売上総利益	3,297	83.5%	-1.2%	3,338	89.7%
販売管理費	2,993	75.8%	+6.4%	2,812	75.5%
Non-GAAP 営業利益	316	8.0%	-40.3%	528	14.2%
営業利益	315	8.0%	-37.1%	501	13.5%
継続事業からの 四半期利益	198	5.0%	-37.8%	318	8.6%
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	199	5.0%	-40.5%	334	9.0%
【参考】売上高	18,978	—	+0.8%	18,820	—

● 両事業ともに前年同期比で増収を確保



※セグメント間収益の消去分の記載を省略しているため、各事業収益の合計と連結収益(下線付数値)は一致しない
 ※2018年9月期より各セグメントへの全社費用の配賦方法を変更したことに伴い、過去数値を遡及修正

- マンガコンテンツ事業におけるプロモーションを中心に**271百万円**の広告宣伝費を計上
- 人件費の増加は、前年同期比**173名**の人員増及び、人事制度改定に伴う給与増によるもの
- 事務所増床やリモートワーク環境整備に関連し、前年同期比で賃借料・消耗品費等が増加

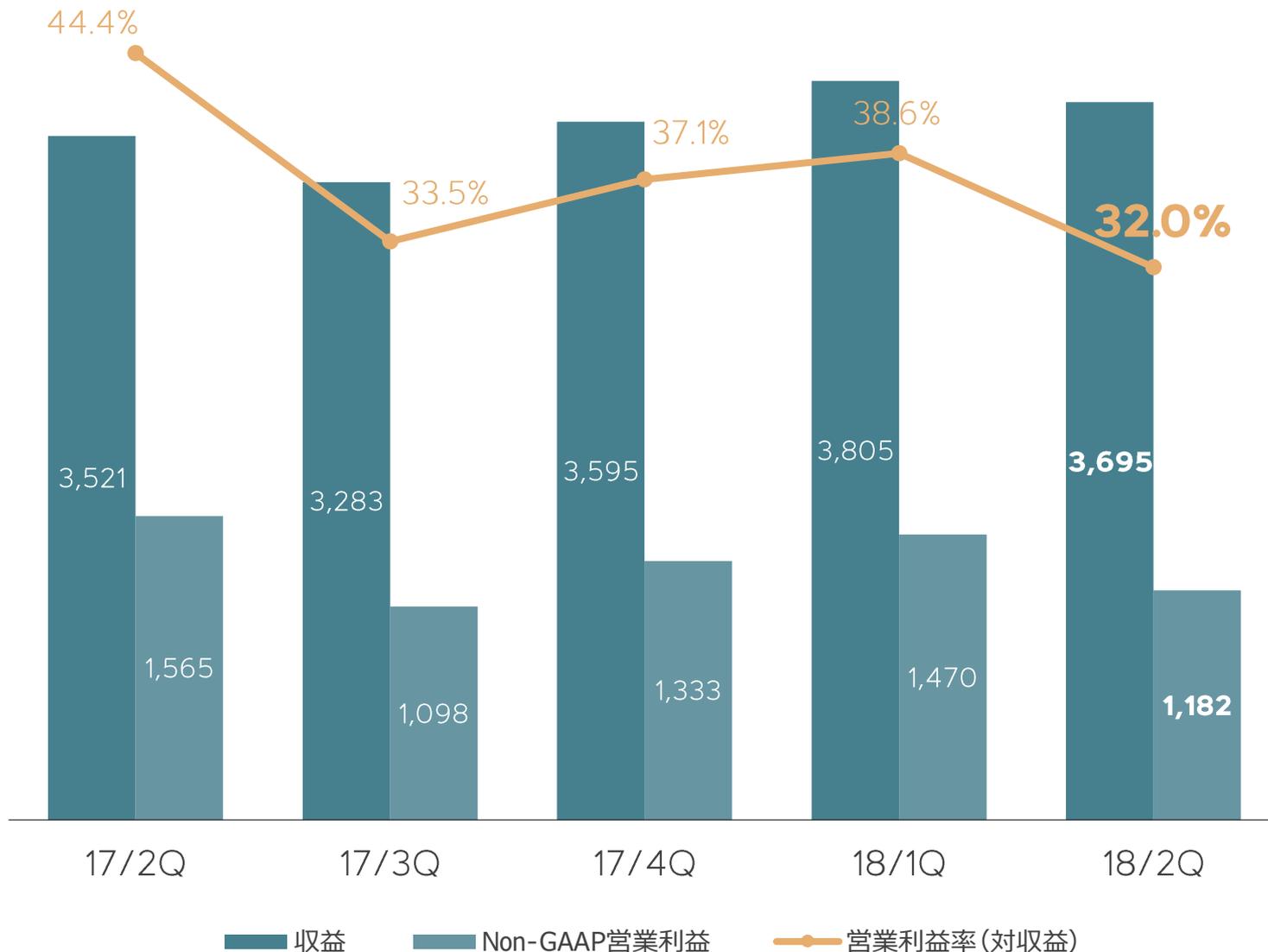


3. ネットマーケティング事業

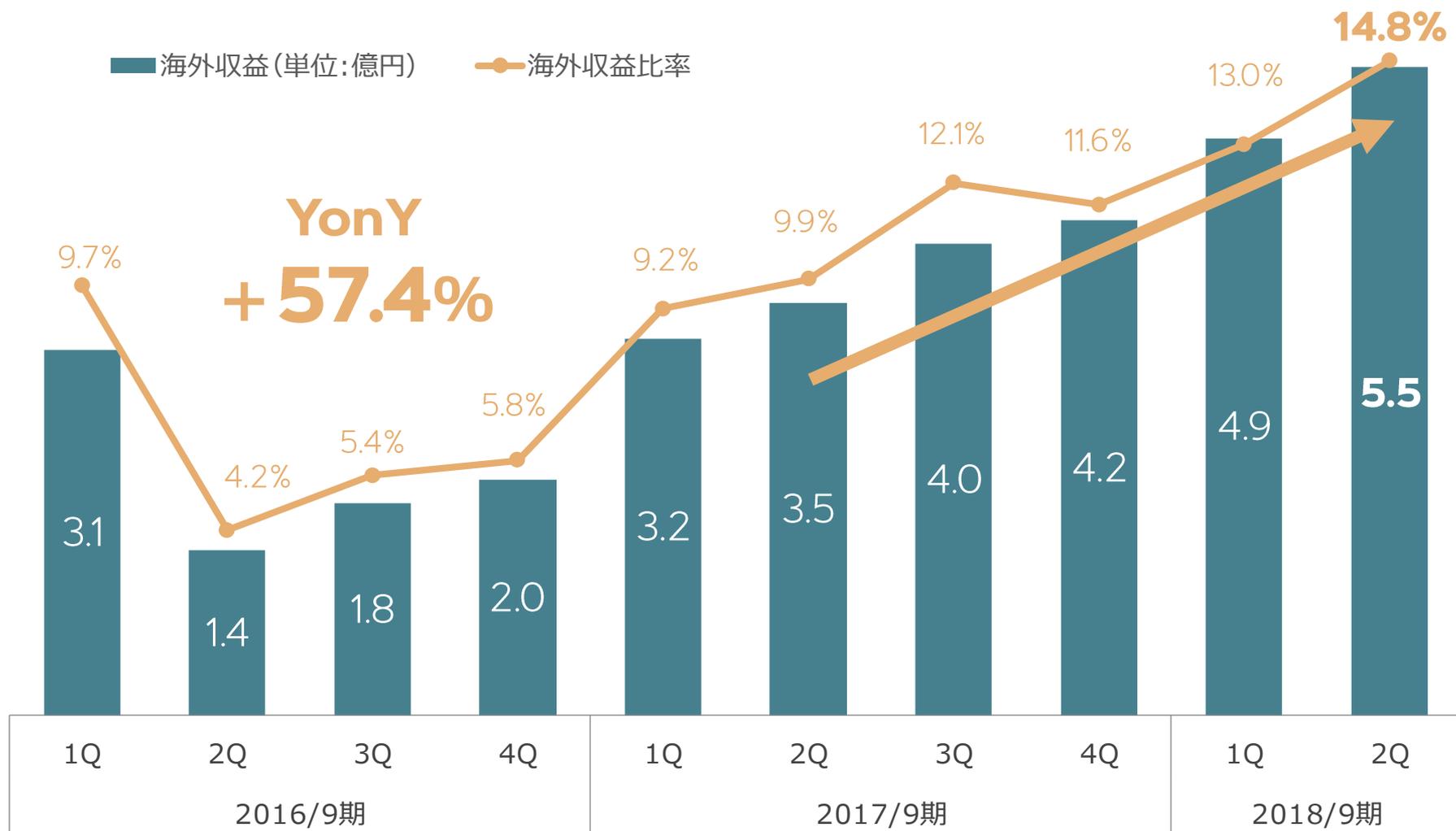
- 前期の一部大型顧客の出稿減の影響を受けるも、その他案件は新規も含め堅調に拡大
- 顧客・商品ミックスの改善に取り組み、収益性が向上
(対売上高収益比率は前年同期18.6%から**19.5%**に向上)

(単位：百万円)	2018年9月期 2Q			2017年9月期 2Q (前年同期)	
	金額	比率	前年同期比	金額	比率
収 益	3,695	100.0%	+ 4.9%	3,521	100.0%
売上総利益	3,168	85.8%	- 1.7%	3,225	91.6%
販売管理費	1,993	53.9%	+ 19.9%	1,662	47.2%
Non-GAAP 営業利益	1,182	32.0%	- 24.5%	1,565	44.4%
【参考】売上高	18,986	—	+ 0.4%	18,910	—

- クリエイティブを中心とした投資等を実行

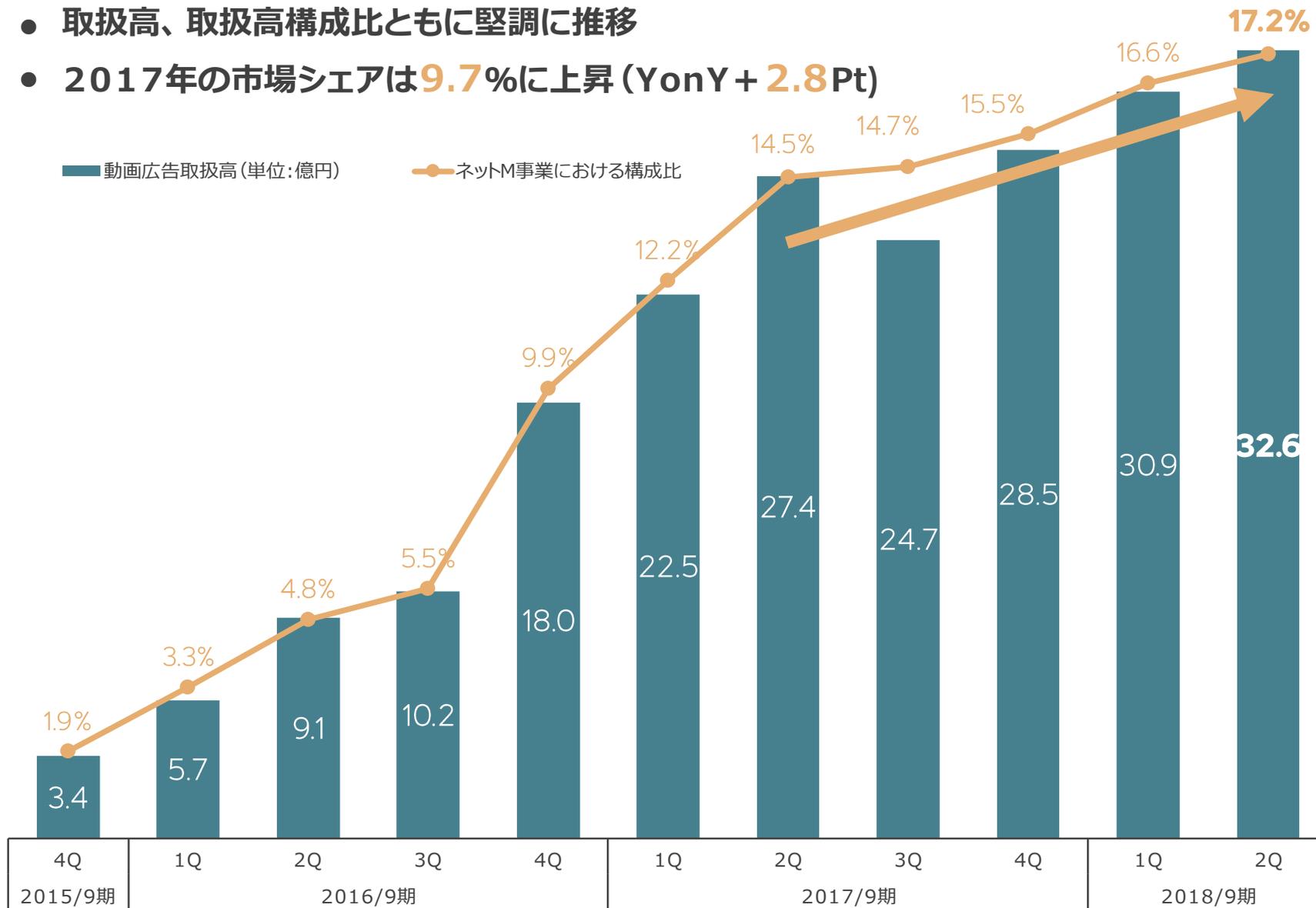


- アジア圏を中心に収益が拡大し、海外収益比率は過去最高を更新



※海外収益の定義: 海外顧客による日本国内への出稿案件 (Out-In)、海外顧客による海外への出稿案件 (Out-Out) における収益を集計

- 取扱高、取扱高構成比ともに堅調に推移
- 2017年の市場シェアは**9.7%**に上昇 (YoY + **2.8Pt**)

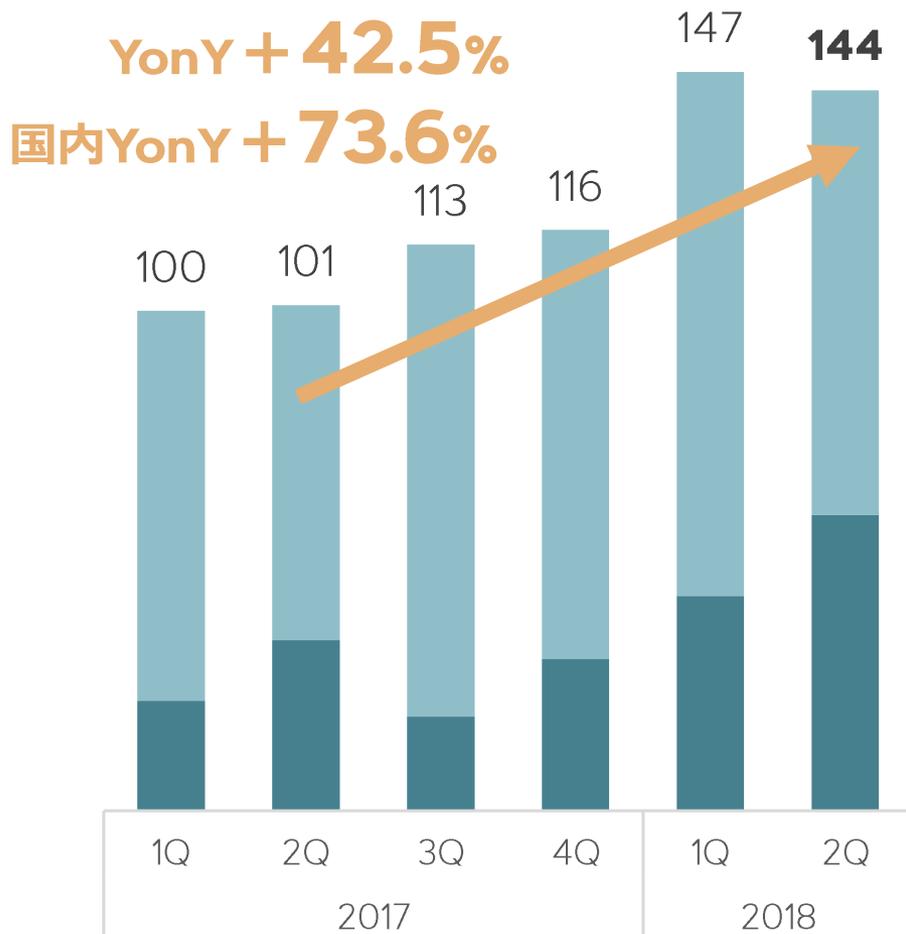


- 海外における季節性要因により前四半期比で減少したものの、国内は順調に拡大

収益推移

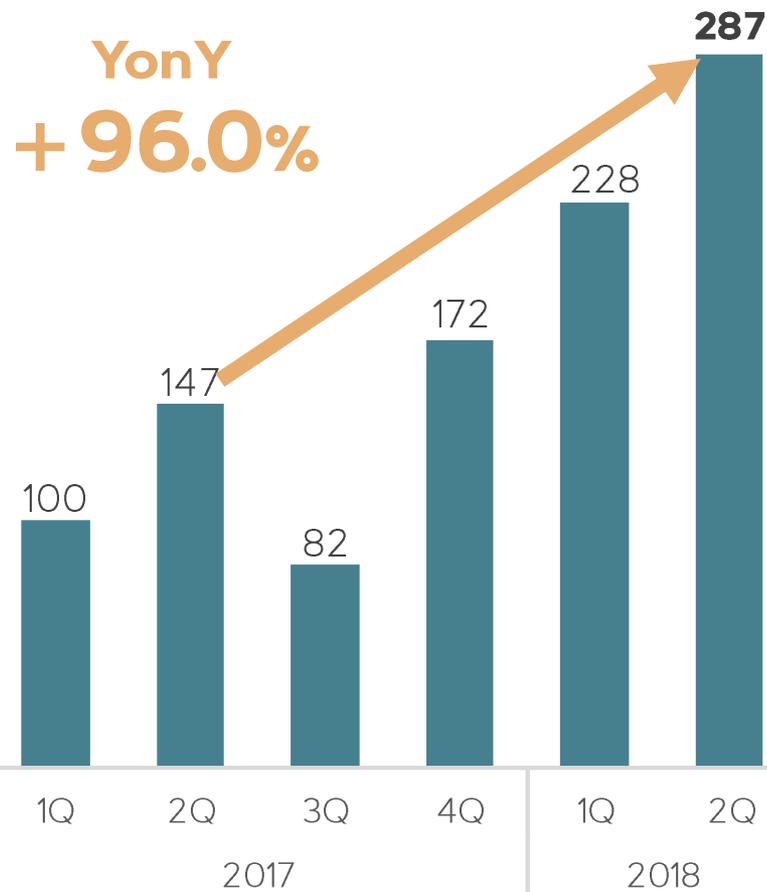
■ 国内 ■ 海外

※2017/1Qの収益を100として指数化



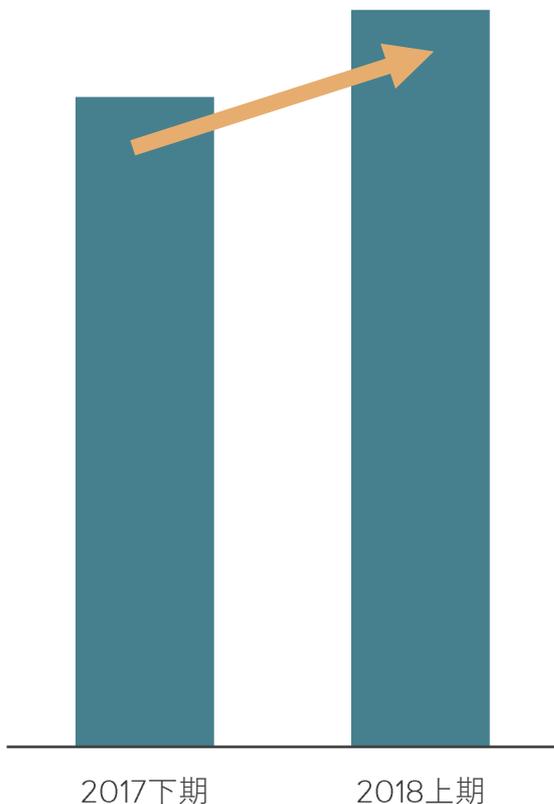
ブランド広告における運用型広告取扱高推移

※2017/1Qの収益を100として指数化



- Facebookを始めとしたソーシャル広告は堅調な成長

ソーシャル広告取扱高 2017下期比
+13.4%



- 2018年2月に2種類のパートナー認定を獲得

Indeed認定パートナー制度

インディード
ゴールド
 パートナー認定

LINE Business Connect
 Sales Partner

2018 1st Half

「LINE Biz-Solutions
 Partner Program」
 「LINE Biz Account」部門
Sales Partner
Gold認定

※「LINE Biz-Solutions Partner Program」:
 LINEの法人向けサービスの販売・開発のパートナーを認定する制度

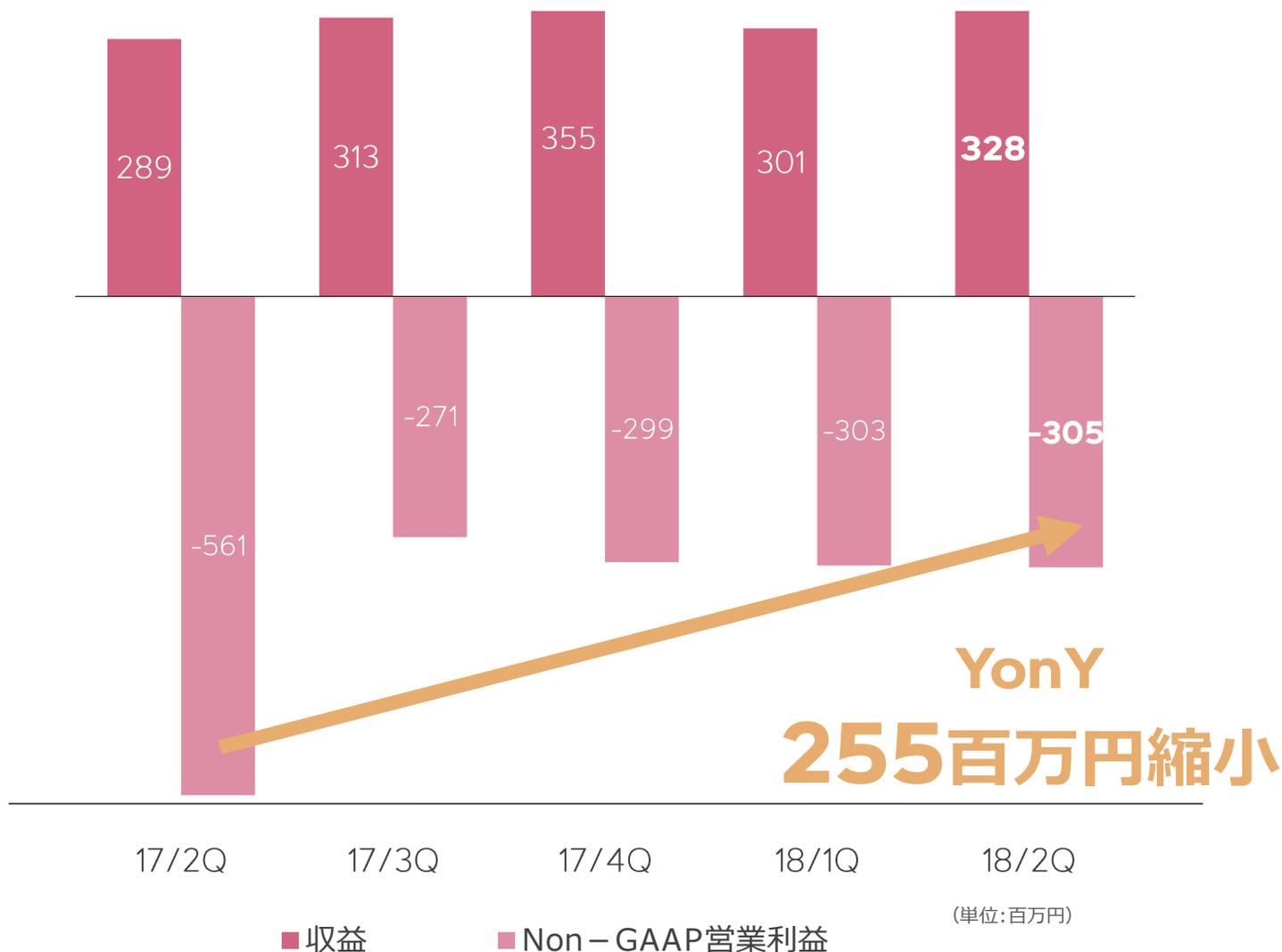
4. メディアコンテンツ事業

- マンガコンテンツ事業はGANMA！における広告商品の拡販が進み、広告収益が増加
- マーケティング投資は継続するも、前期実施のTVCMの非実施により
Non-GAAP営業損失は**255百万円**縮小

(単位:百万円)

	2018年9月期 2Q			2017年9月期 2Q (前年同期)	
	金額	比率	前年同期比	金額	比率
収 益	328	100.0%	+13.3%	289	100.0%
売上総利益	201	61.2%	+3.2%	194	67.3%
販売管理費	506	154.5%	-33.0%	756	261.4%
Non-GAAP 営業利益	-305	-93.1%	+255	-561	-193.9%

- 変化する市場環境において、前四半期比でも着実に収益が拡大
- GANMA！では、オンライン広告を中心に先行投資

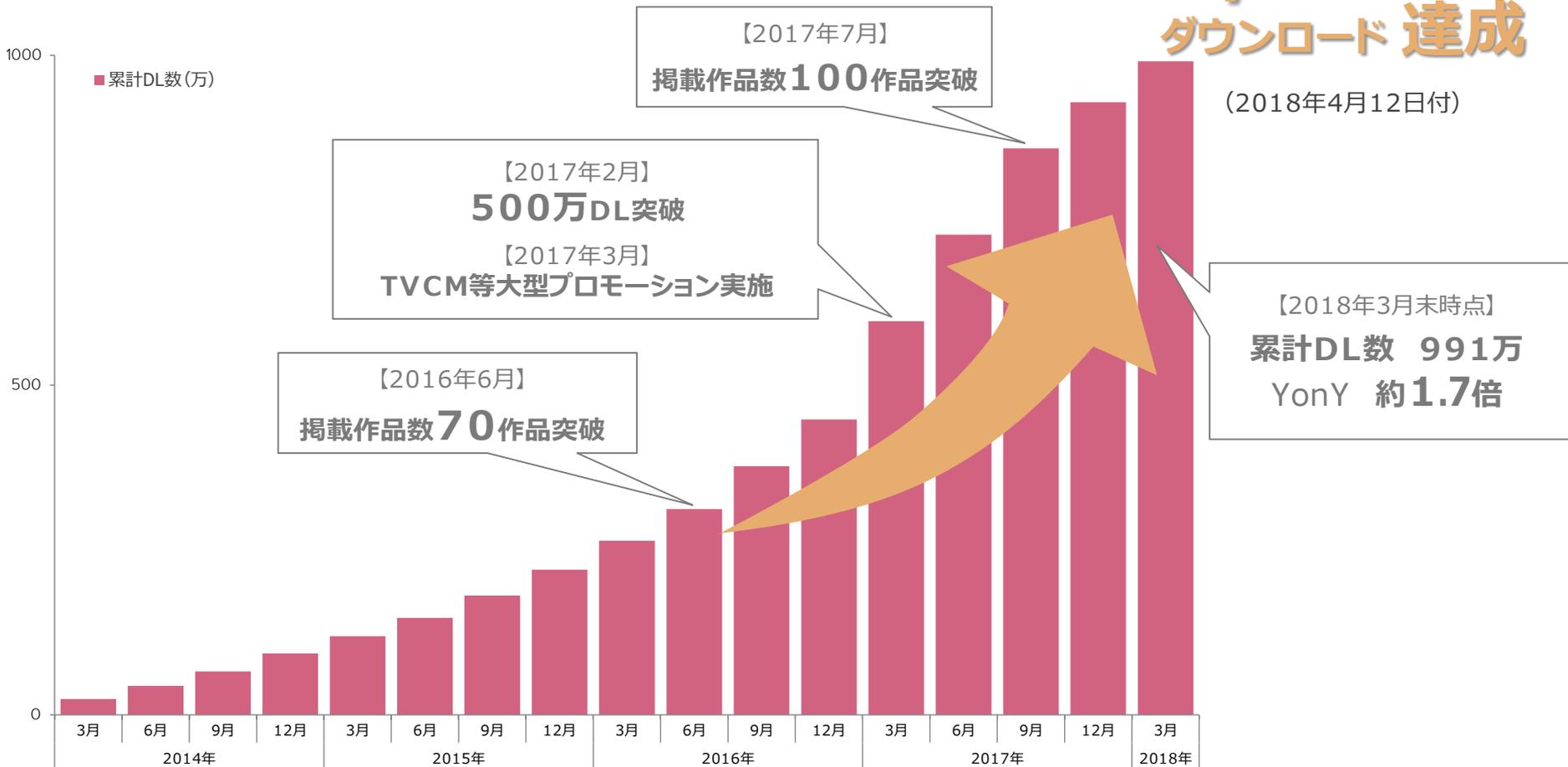




GANMA!

安定的にユーザが増加し、メディア規模が着実に拡大

GANMA! 累計DL数の推移



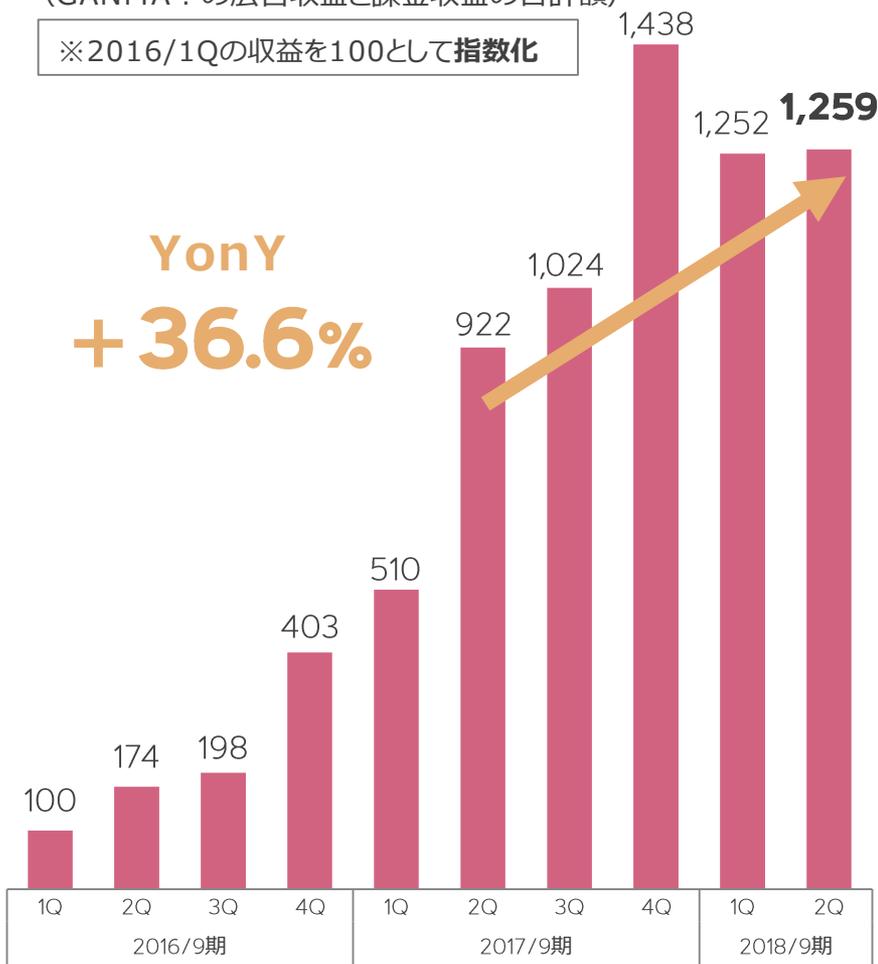
GANMA! アプリ収益は順調に拡大

アプリ収益の推移

(GANMA! の広告収益と課金収益の合計額)

※2016/1Qの収益を100として指数化

YonY
+ 36.6%



ブランド広告市場の開拓



株式会社NTTドコモ様 広告掲載事例





GANMA! コンテンツのリッチ化・多面展開によりユーザーロイヤリティを醸成

▶ 『焼肉店センゴク』
アニメ制作・アプリ内配信
累計再生回数
121万再生



※2017年12月17日～2018年3月31日時点

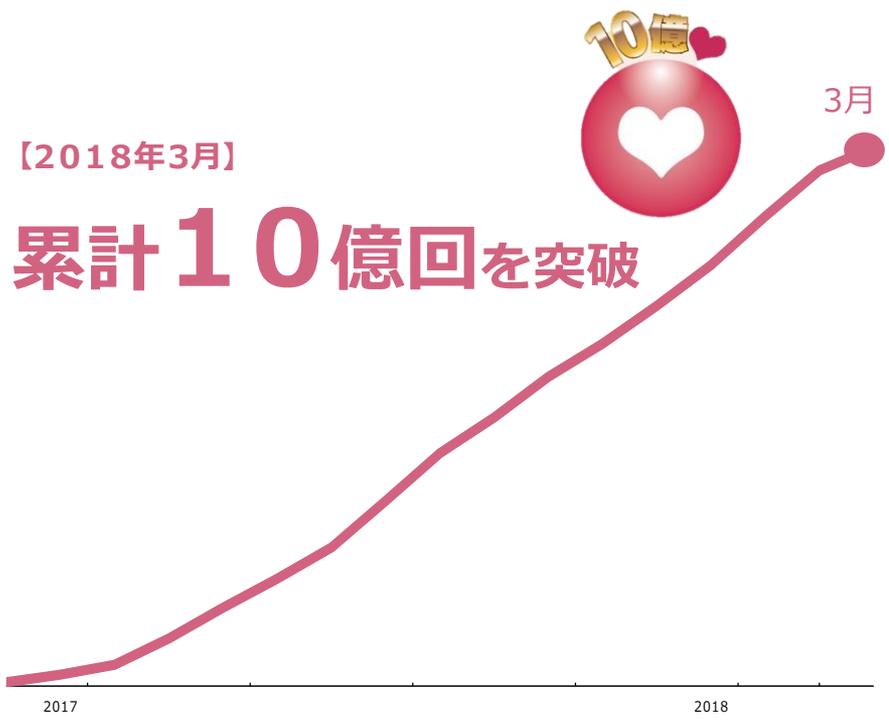
▶ 『クレスト☆シザーズ』
舞台化
2018年5月
東京・大阪にて公演



▶ 『猫娘症候群 (かとりすしんどろーむ)』他
クラウドファンディング
グッズ化
募集目標金額の8.8倍の
資金を集め実施



ユーザーから作家へのハート投稿による応援



5. 2018/9期 通期業績予想

- 2018年9月期より業績予想開示方針を変更しております。引き続き予測困難な市場環境の変動要素は存在するものの、近年と比較し、足元では一定程度将来の見通しが立てやすい状況となったことなどを総合的に判断し、四半期毎に翌四半期業績予想を開示する従前方針から、半期毎の業績予想を開示する方針に変更を行うものであります。

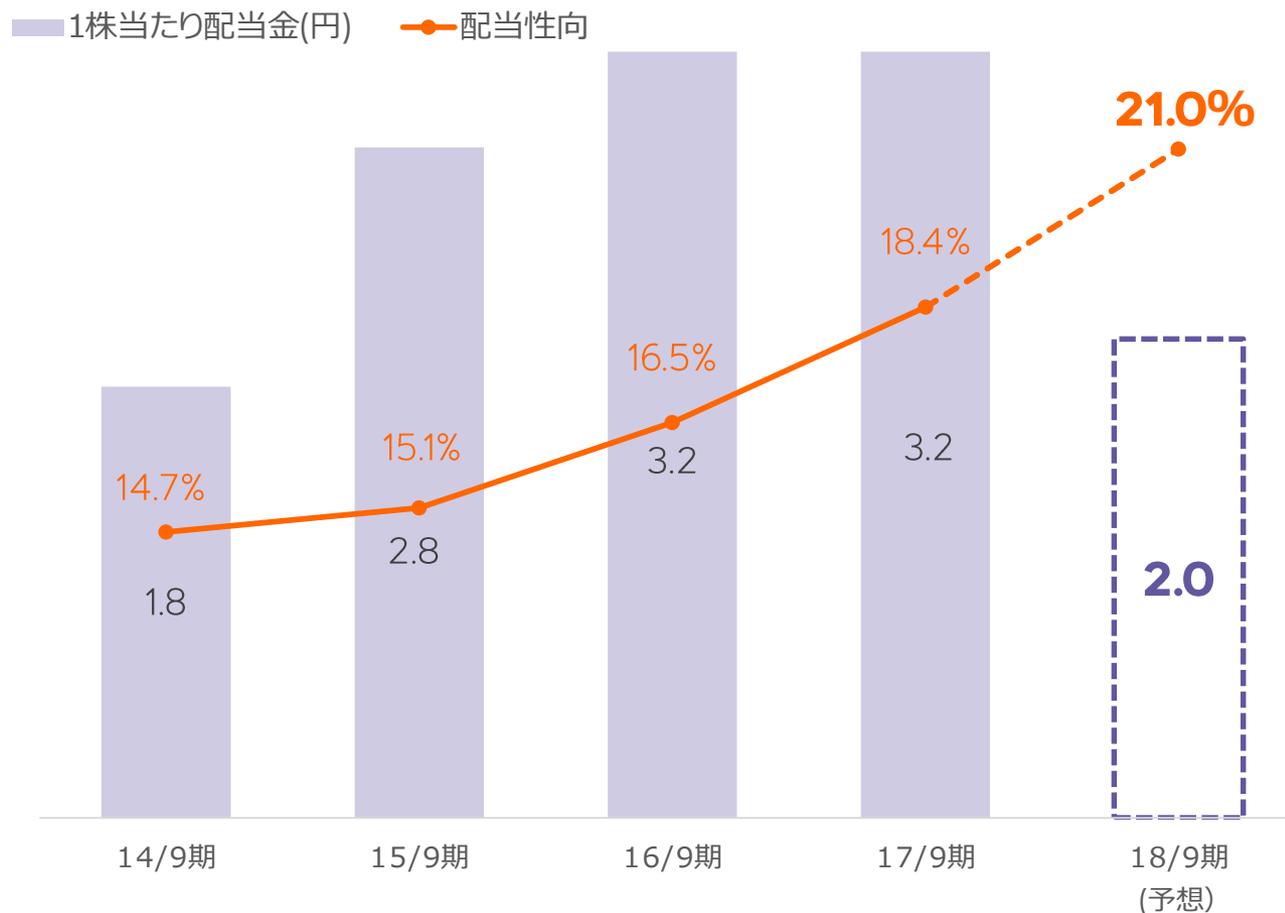
- 両事業セグメントともに増収を見込むも、拡大するインターネット広告市場における競争力強化に向けた投資を実行することにより、営業減益を予想
- 人材の採用が順調に推移する中、質・規模の両面における組織基盤を充実させることで来期以降の中期的な利益拡大へ

(単位:百万円)	2017年9月期 (前期)			2018年9月期			予想成長率 (前期比)
	通期実績	上期実績	下期実績	通期予想	上期実績	下期予想	
収 益	14,702	7,309	7,393	16,376	7,976	8,400	+11.4%
Non-GAAP 営業利益	2,325	1,343	981	1,718	1,018	700	-26.1%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	2,211	1,743	468	1,204	754	450	-45.6%
【参考】売上高	72,375	37,268	35,107	75,824	37,643	38,181	+4.8%
1株当たり配当金 /配当性向	3.2円		18.4%	2.0円		21.0%	

(単位:百万円)

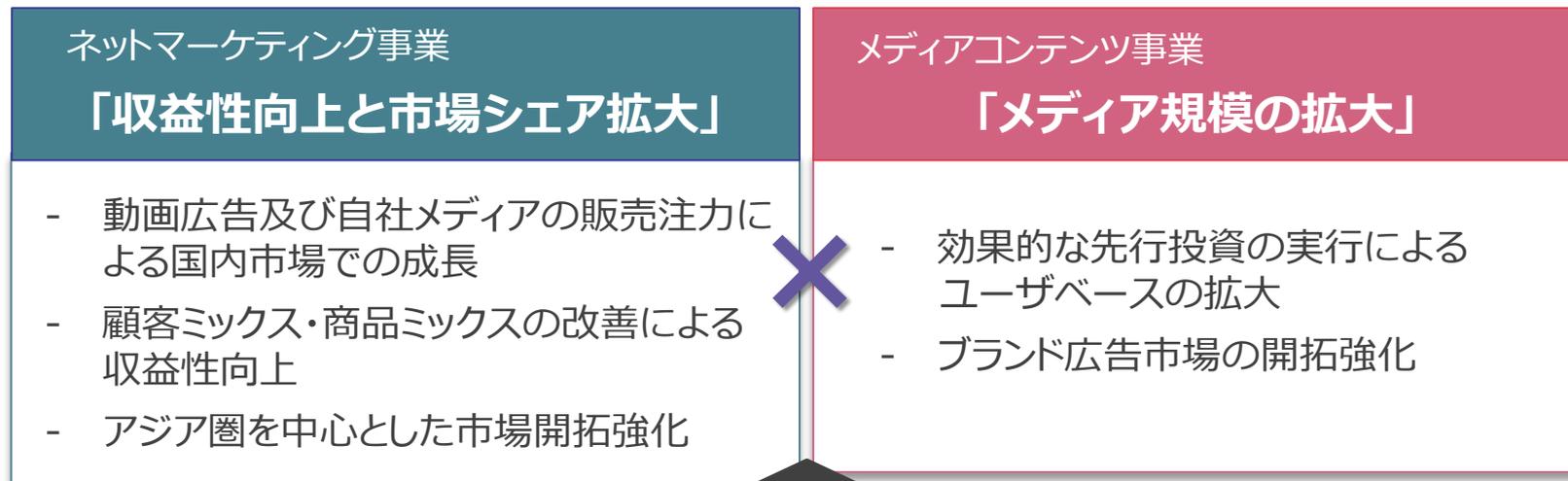
	収 益			Non-GAAP 営業利益		
	2017/9期 通期実績	2018/9期 通期予想	予想成長率 (前期比)	2017/9期 通期実績	2018/9期 通期予想	予想成長率 (前期比)
ネット マーケティング事業	13,833	15,099	+9.2%	5,468	4,758	-13.0%
メディア コンテンツ事業	1,163	1,537	+32.2%	-1,324	-1,054	—
消去・全社	-294	-260	—	-1,820	-1,986	—
連 結	14,702	16,376	+11.4%	2,325	1,718	-26.1%

- 業績の拡大に応じた適切な利益配分を基本としながら、配当の継続性・安定性にも配慮
- 原則として1株当たりの年間配当金の下限を2円と設定し、親会社の所有者に帰属する当期利益に対する配当性向15%程度を目安として決定



※2013年10月1日付で1:200の株式分割を実施、2016年10月1日付で1:5の株式分割を実施
 上記グラフの過年度1株当たり配当金は、分割調整後の金額を算出し、比較

- 海外を含めたネットマーケティング事業の着実な収益性の向上
マンガコンテンツ事業でのメディア規模拡大を目指し、投資を継続



経営基盤「継続的な人材投資による競争力の強化」

- 2017年10月より人事制度改定による人材投資と競争力強化
成長の源泉となる人材への積極的な投資実行、業績連動賞与分のコスト増を見込む

本日はありがとうございました。

お問い合わせ先

株式会社セプテーニ・ホールディングス

www.septeni-holdings.co.jp

経営企画部 IR課

TEL:03-6857-7258 E-mail: ir@septeni-holdings.co.jp

このプレゼンテーション資料に記載された弊社の将来に関する意見や予測及び計画は、2018年4月26日現在の弊社の判断であり、その正確性を保証するものではありません。
世界情勢の変動に関わるリスクやその他様々な不確定要因により、実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります。

6. 補足資料

2018年3月31日現在

会社名	株式会社セプテーニ・ホールディングス
代表者	代表取締役 グループ社長執行役員 佐藤 光紀
所在地	東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー
証券コード	4293 (JASDAQ)
事業内容	インターネット事業を中心に事業展開する企業グループを統括する持株会社
設立日	1990年10月29日
資本金	2,120百万円
発行済株式数	138,856,500株 (うち自己株式10,724,155株) [※]
連結従業員数	1,376名(従業員) うち1,097名(正社員)

※役員報酬BIP (Board Incentive Plan) 信託が保有する当社株式1,739,200株は含んでおりません。

純粋持株会社

(株)セプテーニ・ホールディングス

2018年4月26日現在

ネットマーケティング事業

(株)セプテーニ	インターネット広告事業 インターネット上のプロモーション全般支援	Septeni Asia Pacific Pte. Ltd.	アジア太平洋地域における インターネット広告事業
Septeni Japan(株)	日本におけるインターネット広告事業	Septeni America, Inc.	北米地域における インターネット 広告事業
MANGO(株)	SEMオペレーション	Septeni Europe Co., Ltd	欧州地域における インターネット 広告事業
(株)ハイスコア	スマートフォンマーケティング支援事業	七域広告(北京)有限公司	中国における インターネット広告事業
(株)セプテーニ・オリジナル	ウェブサービスの企画・開発	SEPTENI TECHNOLOGY CO., LTD.	ウェブサービスの開発等
Septeni Ad Creative(株)	インターネット広告 クリエイティブの企画・制作	JNJ INTERACTIVE INC.	韓国における インターネット広告事業
(株)セプテーニ・クロスゲート	アフィリエイトネットワーク	Lion Digital Global LTD	東南アジア地域における インターネット広告事業
トライコーン(株)	CRMサービス事業		

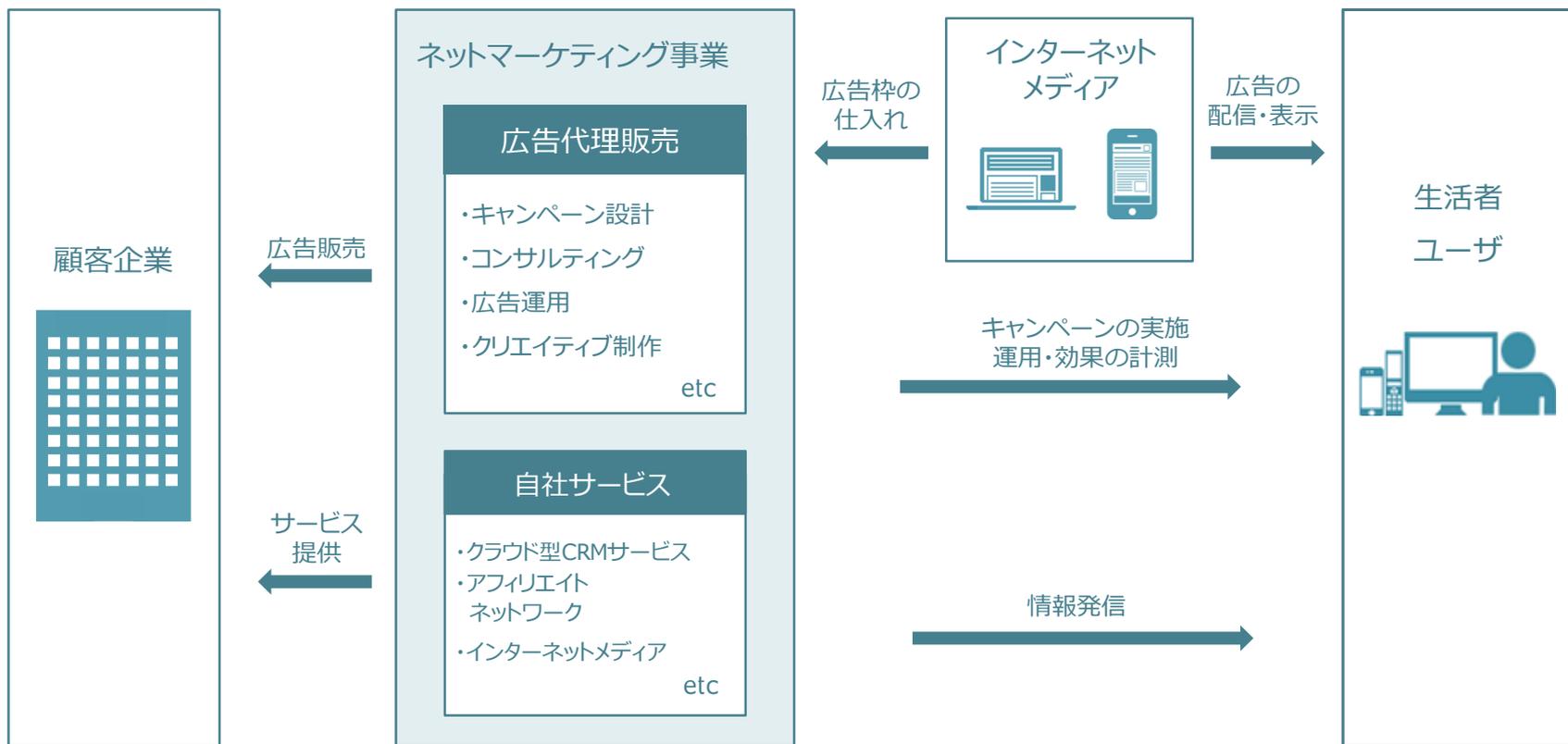
メディアコンテンツ事業

コミックスマート(株)	マンガコンテンツ事業	gooddo(株)	社会貢献プラットフォーム事業
(株)ビビビット	採用プラットフォーム事業	(株)Pharmarket	医療プラットフォーム事業

新規事業開発

(株)セプテーニ・ベンチャーズ

インターネットを活用した包括的な**マーケティング支援サービス**を企業向けに展開。
 スマートフォン向けを中心としたインターネット広告の販売をはじめ、
自社サービスとしてクラウド型CRMサービスやアフィリエイトネットワーク等
 マーケティングプラットフォームの運営を手がける。



「マンガコンテンツ事業」では、**自社IP (知的財産) の企画・開発**を目的にマンガ家の育成・支援を手がけるとともに、専属作家によるオリジナル作品を中心に構成されたマンガアプリ「GANMA!」を**自社メディア**として運営。

その他に、社内ベンチャーから生まれた新規事業として、「採用」「社会貢献」「医療」に関するプラットフォーム型の事業等を展開。



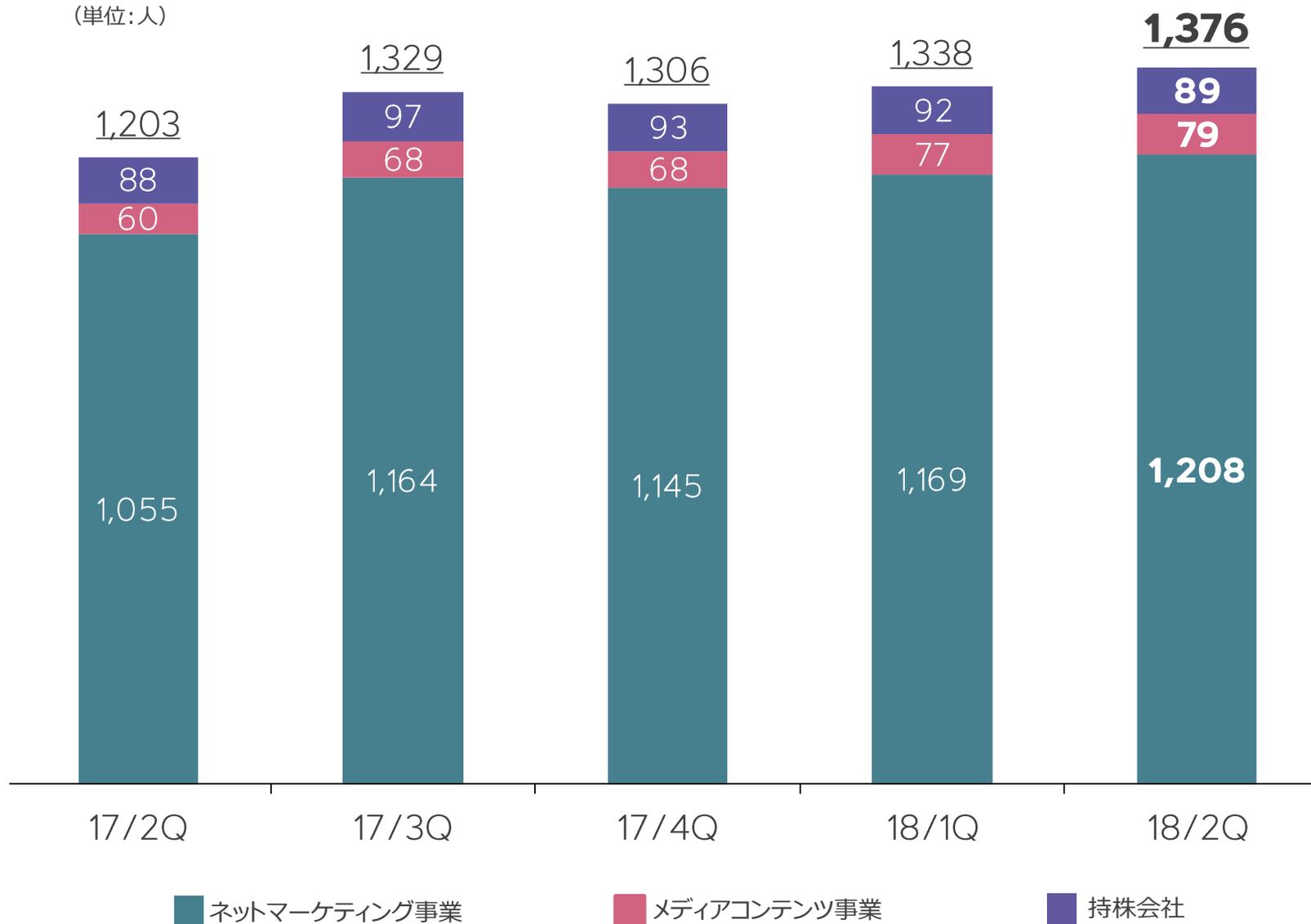
(単位:百万円)

	2018年9月期 2Q末	2017年9月期 期末	増減	主な変動
流動資産合計	25,644	26,272	△629	営業債権 + 516 現金及び現金同等物 △824 その他流動資産 △267
非流動資産合計	6,986	6,656	+330	有形固定資産 + 247 持分法で会計処理の投資 △221 その他の金融資産 + 389
資産合計	32,630	32,929	△299	
流動負債合計	12,748	13,387	△638	営業債務 + 190 未払法人所得税 △210 その他流動負債 △391
非流動負債合計	4,458	4,319	+139	その他金融負債 + 181
負債合計	17,206	17,705	△499	
資本合計	15,424	15,224	+200	配当金の支払い △410 四半期利益計上 + 753
負債・資本合計	32,630	32,929	△299	

(単位:百万円)

	2018年9月期 2Q(10-3月)	主な内訳	2017年9月期 2Q(10-3月)
営業活動による キャッシュ・フロー	△47	継続事業からの税引前四半期利益 + 1,221 法人所得税の還付 + 450 運転資本△745 法人所得税の支払い△831	△333
投資活動による キャッシュ・フロー	△180	関連会社株式の売却 + 372 有価証券の取得△372 有形固定資産の取得△280	△1,604
財務活動による キャッシュ・フロー	△590	配当金の支払い△410	△1,564
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△7		89
現金及び現金同等物の 増減額	△824		△3,412
現金及び現金同等物の 期末残高	14,695		12,069

(単位:人)



コーポレート・ガバナンス強化

2018年1月 機動的且つ強固な経営基盤の確立を目指して

モニタリング型
取締役会への移行

委任型執行役員制度
の導入

- ✓ 取締役会は、その過半数を独立社外取締役で構成
(2018年1月より、取締役7名のうち社外取締役4名)
- ✓ 取締役会は、業務執行の意思決定と執行の権限を委任型執行役員に委任
- ✓ 取締役会はグループ執行役員を監督(モニタリング)

人材投資・人権問題への対応

【女性活躍推進】

女性管理職比率

8% → 14%

(海外含む場合: 22%)

(2014年)

(2017年)

【差別・ハラスメント対策】



SE PALLY
RAINBOW

LGBT支援
同性パートナーへの
福利厚生適用開始

【文化・スポーツ支援】

フェンシング(サーブル)トップアスリート
福島史帆実 選手入社

2018年4月



【働き方改造】

働きがいのある会社ランキング

7年連続 ベストカンパニー

Great Place to Work (R) Institute Japan

GREAT
PLACE
TO
WORK

Best
Workplaces 2018
Japan

